

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	入居者には日々の生活の中で意向や要望を聞いた り、言動等から確認し把握するようにしている。家族 からは面会時や電話等で要望や意見を聞いているが、コ ロナ禍で面会を控えている家族は面会回数自体が少 なく、要望や意見を聞く機会が減っている。	家族からの要望や意見を吸い上げる方法を検討、 実施する。又、コロナが落ち着いて、環境が整った ら、運営推進会議に参加可能な家族に参加してい ただくよう働きかける。	郵便物送付の際、近況報告と意見・要望等の確認を 書面で送り、返信用封筒を付けて実施する。定期的 に面会に来られる方については、面会時に直接、意 見・要望等の確認を行う。家族代表の方に固執せず、 面会に来られた方の意見やメールや電話などを利用し 意識的に意見を聞くことが出来るよう声掛けをいつ も以上に行う。	6ヶ月
2	33	グループホームの特性や今後の施設方針として重度 の新規入居者は受け入れを行わないため看取りを行 う予定はないが、現在勤務しているスタッフは若く、経 験の浅い方もみえるため重度化している方への対応 や緊急時(夜間及び急変時)の対応に不安を持っている。	現在勤務しているスタッフが緊急時においても落ち 着いて対応できる環境・体制作りを行う。	研修計画の中に、緊急時(急変時)の対応について の研修(AEDの使用法、迅速な連絡、情報共有、受診 方法の確認等)を盛り込み、実施する。	12ヶ月
3	34	グループホームには看護師の配置が無い、医療 分野において不安が大きい。入居されている方の高 齢化や医療依存度が大きくなっている為や緊急時(夜 間及び急変時)の対応に不安を持っている。	現在勤務しているスタッフが緊急時においても落ち 着いて対応できる環境・体制作りを行う。 往診医との連携強化 訪問看護師との連携強化	研修計画の中に、緊急時(急変時)の対応について の研修(AEDの使用法、迅速な連絡、情報共有、受診 方法の確認等)を盛り込み、実施する。 訪問看護師との連携を強化し、緊急時以外の対応に 関しても相談がしやすい関係づくりを行う。 地域医療機関の地域医療センターとの連携を図り、 重症化を未然に防ぐなどの対応を模索する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。